

中高生スポーツ交流会～バスケットボール大会～

取組の背景・目的

- 企画をきっかけとした中高生への児童館の周知
- 中高生の居場所づくり
- スポーツを通じて交友関係を広げる
- 学区・地域を超えた交友関係づくり

取組の概要

- 実施場所
福生市 熊川児童館
- 実施頻度
年1回、18時30分～20時
- 職員体制
常勤3名、福生市内の3ヶ所の児童館から参加を募っている為、各館必ず1名職員が参加する体制をとっている
- 事業の実施方法
(委託事業：労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団)

工夫点・留意点

- 開催に基づいて、事前に中高生に参加しやすい曜日、時間帯の聞き取りを行なった。
- 帰宅時間が遅くなるため、参加届に保護者の同意、開催場所の連絡先を記載するなど児童の安全を配慮した。
- 普段、部活動等で利用が少なくなる中高生の為に、申込み開始の1ヵ月以上前から告知を行なった。
- 異世代交流も目的の一つのため学校・学年関係なく、ランダムにチームを振り分けた。
- 職員もチームの一員として参加し、異世代交流を行なった。

取組の効果

- 普段利用のできない時間帯に自分たちが参加できる事業が開催され、のびのびと楽しむ姿が見られた。
- 中学校のバスケットボール部に所属している子は、部活動とは違い自由にプレーできる環境や、体格も力も中学生とは違う児童館の職員やボランティアと対戦できることが新鮮であった様子。
- 部活に入っていない子もスポーツを通じて交流が深まる機会となった。
- ボランティアの方はバスケットボールの経験者であったので、そのプレーを興味深そうに見る様子が窺えた。
- 途中、中学生から自主的に「バレーボールがしたい」との声が上がり、バレーボール大会へと変わった。集まった全員が自主的に2グループに分かれバレーボールで交流を深めていた。



課題・今後の展開

- 中高生の利用頻度が、小学生に比べて少ない為、告知・周知が難しい。
- たくさんの中高生に参加してもらうために、スポーツに限らない企画を考え、中高生の居場所づくりを引き続き行なっていきたい。
- “学区・地域を超えて友だちの輪を広げる” きっかけをつくっていきたい。